



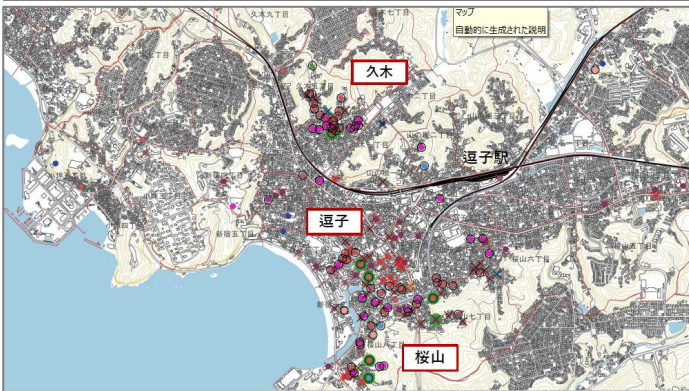
かながわヘリテージマネージャー(KHM)協会 2022年前半の主な活動

1) 逗子プロジェクト

5月15日に第3回存在調査を行いました。3年越しの調査もようやく全数調査が完了しました。2000年の県近代和風建築調査リストの現存率は53.9% 総覧、近代洋風等の現存率は13.0% 逗子では3つの特徴のあるエリア（逗子・桜山・久木）ごとに、大切に遺すべき景観があり、その構成要素となっている歴史的建物や建物群を確認できました。

	調査対象件数	現存	減失	不明 (確認不可)	現存率
近代和風建築調査リスト	89※	48	41	0	53.9%
総覧、近代洋風建築調査等 その他既往調査資料	46	6	39	1	13.0%
調査時に見つけた物件	41	39	1	1	-
合計	166	116	80	2	-

※近代和風建築調査1次リストは91件、内2件は国登録有形文化財に登録済み



① 逗子エリア：かつての別荘地の面影が残る街並み



大谷石積みの塀と黒松に囲まれた数寄屋風の和風住宅が並ぶ。2階に海岸を望む欄干付きの縁が廻り、別荘地らしい街並み。



角地の開放的な敷地に、大小2棟のロジック風洋館の2つの赤い洋瓦の屋根が、黒松や生垣の緑と対照的で印象的な街並み。

② 桜山エリア：山の麓の農家、山の上の屋敷



山の麓の農家。1848年創建桜山を背景にした広い庭にもとは茅葺屋根寄棟造の主屋と倉が残る。瓦屋根の立派な腕木門が、往時の農村の繁栄を物語る街並み。



山の上のお屋敷。大正元年創建の旧徳川家達邸。逗子の海を望む4部屋続きの縁側が特徴。市の資料館として利用されていたが閉館。今後の行方が心配される。

③ 久木エリア：戦争の記憶が残る建築群



池子弾薬庫建設のために、柏原村からの強制移転先。今なお6棟が残りその建築群が戦争の歴史を物語る。逗子の大切な歴史が残る街並み。継承が望まれる。



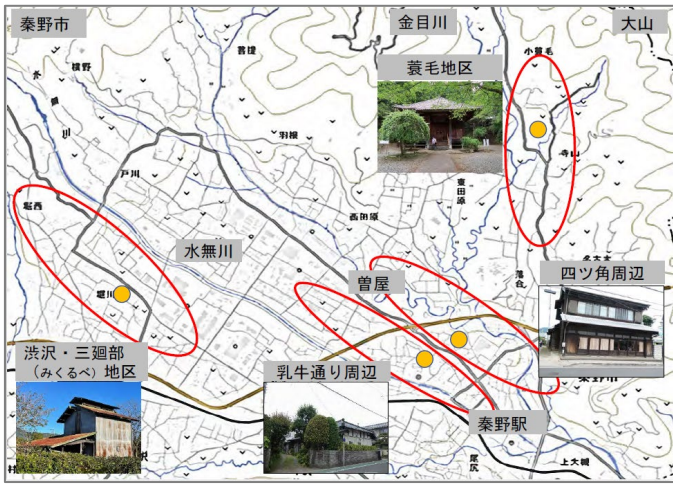
大谷石積に赤目垣の生垣に覆われた入母屋造の瓦屋根の軒高の高い主屋。玄関や和室の材の太さや意匠を凝らした造作や建具に価値を有する。

2) 秦野・伊勢原プロジェクト

6月11日に秦野の第3回存在調査を行いました。こちらも2年越しの調査ですが、一部エリアを除いてほぼ全数の調査が終わりました。県近代和風建築調査リストの現存率は46.2%、総覧、近代洋風等の現存率は35.7%です。市中心部での印象に比



べて意外と遺っているのは、昭和初期迄の繁栄後に郊外でその後開発が進まなかったことが要因の一つにあると考えています。



秦野は市の中心を流れる水無川の扇状地で、丹沢や渋沢丘陵からの湧水群により農業が盛んになり、明治から昭和初期には煙草の産地として繁栄しました。その当時の様子を今に伝える歴史的な建物を中心とした街並みや景観が、市中心部の四ツ角周辺と乳牛通り周辺そして郊外の渋沢、三廻部の3地区を中心に遺っています。また大山や丹沢信仰に関連する養毛地区も合わせて、4つの特徴的な大切に遺すべき景観とそれを構成する歴史的な建物群があります。

① 四ツ角周辺：県道705号線沿いの商店群



県道704号と705号が交わる本町四ツ角周辺に、明治以降商店が建ち並び市街地が形成された。西洋様式の2階、3階建ての商店が目目を引くが積極的な活用が乏しい。

② 乳牛通り：旧街道沿いに古い商店や倉が並ぶ

水無川の河岸段丘沿いの旧街道には、江戸期から続く豆腐屋など、古い商店と、浮屋根の倉を持つ農家の和館が並ぶ。その中で独特な真壁造りの外壁のK邸は、昭和8年創建、間口7間半、奥行き4間、軒高の高い煙草農家。



③ 渋沢・三廻部地区：秦野らしい農村の景観



独特な腰屋根の煙草乾燥小屋。昭和初期以降に米葉を火力で乾燥するために嵩の高い土壁に漆喰仕上げの外観が、専売公社の共通仕様だった。現在この地区になお残る貴重な秦野らしい農村の景観。

④ 養毛地区：丹沢・大山信仰として栄えた街道



大日堂へ至る街道沿いには大山詣でと同様に御師の家が点在する。かつては参拝者用の宿泊施設も兼ねた。現在遺るのは2軒のみだが、秦野の特徴ある景観を構成する大切な建物群として遺したい。

3) かながわヘリテージマネージャー養成講座の再開

2009年度から2015年度まで神奈川県と建築士会が実施しその後中断していたヘリテージマネージャー養成講座を9月から再開しました。2年間かけて座学と演習での学びを経て、ヘリテージマネージャーとして活動されることを期待します。

かながわヘリテージマネージャー協会では、今後益々活動機会が増えるヘリテージマネージャーの現在のメンバーの年齢構成が高い（60代以上が65%）ことを踏まえ、神奈川県建築士会と共に神奈川県に働きかけて協力を得て、さらにJIA文化財修復塾の全面的協力により、3年越しで準備して養成講座の再開を実現しました。

なお本養成講座は（一社）神奈川県建築安全協会の社会貢献事業振興助成金を得て実施しています。

かながわヘリテージマネージャー（KHM）協会



HP kanagawa-heritage.org
E-mail k-hm@kanagawa-heritage.org
横浜市保土ヶ谷区川島町737-3

ヘリテージマネージャー養成講座の修了生等により平成28年に設立された団体で、神奈川県内の歴史的建造物の保全活用を目指して活動しています。ヘリテージマネージャーとは、地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のことです。